

新しく着任しました

学校長 後藤 憲一

校庭や川沿いには桜や、花々が咲き誇り、皆さんの新年度のスタートを出迎えてくれました。ご進級・ご入学おめでとうございます。

今年度は、7日の始業式に3年生171名5クラス、2年生183名5クラス、11日の入学式には新入生156名4クラス、全校生徒510名18クラス（スタディ4クラスを含む）でスタートしました。教職員一丸となって、全力で教育活動に尽力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しもつかず、不安な日々が続きますが、これまでの経験と反省に立ち、創意工夫を凝らして子供たちの成長を皆様とともに見守っていきたくと考えています。引き続き感染防止に細心の注意を払って、教育活動を充実させていきます。

本校の教育目標は、「人間尊重の精神を基礎に、確かな学力、豊かな心、たくましい身体を培い、明日の社会を創造する人間の育成をはかる」です。

知、徳、体の健やかな成長を願って設定しております。

校訓は

- ・心身ともに健康で夢と希望をもって生きる生徒（希望）
- ・自ら考え、行動し、豊かに表現できる生徒（実践）
- ・社会の一員としての自覚を持ち、思いやりをもって行動できる生徒（協同）

「希望・実践・協同」としております。

お互いを認めあい、思いやりの心、感謝の気持ちを大切にする生徒の育成に努めたいと思います。

さあ、新しい一年の始まりが始まります。

東井義雄さんの「心のスイッチ」という詩を紹介します。

人間の目は、不思議な目、見ようという心がなかったら見えても見えない。

人間の耳は、不思議な耳、聞こうという心がなかったら聞いていても聞こえない。

本当にそうだと、腹の底まで聞く人もある。

同じように学校に来ていても、ちっとも偉くならない人がある。

毎日、ぐんぐん偉くなっていく人もある。

今までみんなから、つまらない子だと思われていた子でも、

心にスイッチが入ると、急に素晴らしい子になる。

心のスイッチが、人間をつまらなくもし、素晴らしくもしていくんだ。

電灯のスイッチが、家の中を明るくもし、暗くもするように。

今日は、みんなの心のスイッチが入る日です。心のスイッチが入ったら、次は自分の足で歩きだすことが肝心です。一步ずつ自分のペースで着実に歩み続けましょう。

子供時代を精一杯生きてこそ、活力に満ちた青年になり、活力ある青年が、夢を追い続ける大人になっていくのだと思います。新たな目当てを持ち、実りの多い一年にしましょう。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度も、本校の教育活動にご支援ご協力のほど、よろしくお願い致します。

